福岡国際医療福祉大学

今後ますますニーズが高まる医療専門職について知ろう！

作業療法士は、病気やけが、認知症や発達期の問題等で日常の生活に支援が必要な方の治療や指導・援助にとどまらず、ユニバーサルデザイン、最先端技術の研究・開発まで、活躍の場が広がっている注目の国家資格です。
また、目の健康を担う専門家として、視力や視野などの視機能検査、斜視・弱視の矯正訓練や治療に携わるのが視能訓練士。
これらの医療専門職が関わる領域の現状と、そこで活躍する医療専門職の役割について、この機会に学んで職業の選択や、治療・リハビリテーションの参考にしませんか。

定員
各200名
要予約・
当日参加も可

①作業療法士セミナー

8/17（土）

生活を科学する!作業療法士の世界

福岡国際医療福祉大学
オープンキャンパス同時開催

●日時／8月17日（土）13:00～15:00　●会場／福岡国際医療福祉大学国際ホール

「生活を科学する作業療法士の活躍領域
～ユニバーサルデザインから介護ロボットの研究・開発まで」

1 福岡国際医療福祉大学
作業療法学科長
北島 栄二 教授

「こどもたちの未来を紡ぐ作業療法士
～育ちの場、教育の場で求められる作業療法とは」

2 国際医療福祉大学
作業療法学科長
日田 勝子 教授

「作業療法士の広がる活躍フィールド
～今、話題のeスポーツへのサポート」

3 日本作業療法士協会
福祉用具対策委員会委員
国立病院機構八雲病院
作業療法士
田中 栄一 氏

②視能訓練士セミナーI

8/25（日）

視覚障害の未来を拓く視能訓練士の役割

福岡国際医療福祉大学
オープンキャンパス同時開催

●日時／8月25日（日）14:00～16:00　●会場／福岡国際医療福祉大学国際ホール

「小児の視機能の発達とその異常
～早期発見・早期治療の大切さと視能訓練士の果たす役割について」

1 国際医療福祉大学副学長・
保健医療学部長・視機能療法学科長
全国視能訓練士学校協会会長
新井田 孝裕 教授

「視能訓練士の活躍領域と、
視能訓練士教育の最前線」

2 福岡国際医療福祉大学
視能訓練学科
橋本 勇希 准教授

ディスカッション
［座長］福岡国際医療福祉大学視能訓練学科 吉冨 健志 学科長
● 新井田 孝裕 教授　● 橋本 勇希 准教授

3 （一社）福岡市視覚障害者福祉
協会専務理事、
前パソボラさーくる虹代表、
元ＪＲＰＳ福岡副会長
明治 博 氏

③視能訓練士セミナーⅡ

9/21（土）

眼科治療とリハビリテーション～視能訓練士のこれから

●日時／9月21日（土）13:00～15:00　●会場／福岡国際医療福祉大学国際ホール

「目の大切さ」

1 九州大学理事・副学長
前九州大学病院病院長
前九州大学大学院医学研究院
眼科学分野教授
石橋 達朗 氏

「視能訓練士の役割と
活躍のフィールド」

2 日本視能訓練士協会
九州ブロック長
認定視能訓練士
（くまもと森都総合病院）
冨士登 謙司 氏

福岡国際医療福祉大学
視能訓練学科 紹介

3 福岡国際医療福祉大学
視能訓練学科長
吉冨 健志 教授

セミナー
問い合わせ
申し込み

お申し込み方法
ご希望のセミナー番号を明記し、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、
属性（中学生以下・高校生・既卒生・保護者・大学生・社会人）、性別、電話番号、参加人数、を
ご記入の上、FAX、メール、LINEまたは電話よりお申し込みください。

駐車場（台数限定／要予約）
セミナー参加お申し込みの上、必ずお電話にて事前予約をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み先
福岡国際医療福祉大学　〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-6-40
TEL／092-832-1200
FAX／092-832-1167 メール／nyushi@takagigakuen.ac.jp
LINE QRコード

これから活躍が期待される、医療専門職
［国家資格］

社会的ニーズがますます高まる作業療法士、視能訓練士。
科学的・創造的探究心を活かし、多彩なフィールドで活躍が期待できる注目の医療専門職です。
作業療法士、視能訓練士が取得する国家資格は、不況に強く、
ライフスタイルに合わせて再就職するときにも有利です。

作業療法士とは

生活に必要な動作能力の回復を図り、その人らしい生き方の実現を支援するスペシャリストです。高齢化や子どもの発達障害の顕著化でますますニーズが高まっている仕事です。

上肢機能に対する評価・分析・治療を行います。

- どんな活動にも使われる「手」を支援する専門家です。
- 骨折や切断などの患者さまの機能回復から動作獲得までを支援します。
- 解剖学や運動学に基づいた治療、手の装具の作成を行います。

脳・精神機能に対する評価・分析・治療を行います。

- 医学的検査と動作分析を組み合わせ、障害の特徴を把握します。
- 脳卒中や認知症、精神疾患などの患者さまの治療を行います。
- 脳・精神機能に関する医学的知識や技術を駆使した支援を行います。

［活躍のフィールド］

◎総合病院、大学病院、リハビリテーション病院、精神科病院、クリニックなど、多くの作業療法士が医療分野で働いています。
◎老人保健施設、特別養護老人ホーム、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーションといった介護分野や、
障害者施設、児童福祉施設といった福祉分野で活躍するなど、地域や社会で働く作業療法士のニーズは高まっています。
◎行政、研究機関、学校、企業、国際協力機関、就労支援事業所など多岐にわたる分野で、社会に広く貢献しています。
特に、産学官連携によるユニバーサルデザインや介護ロボットの研究・開発、注目のeスポーツにおける障害者や高齢者の社会参加
支援といった分野では、今後作業療法士の活躍が期待されます。
◎大学院への進学、海外留学等で、国内外で社会を支えるリーダーを目指します。

視能訓練士とは

視力や視野などの視機能検査、斜視・弱視の矯正訓練・治療などに携わる、目の健康を担うスペシャリストです。高齢化が進み、目の疾患が増えている今、これからの活躍が期待されている仕事です。

視機能検査に携わり、高度化した眼科医療に貢献しています。

- 複雑な器官である目の検査に携わり、医師の診断・治療方針の決定に必要な患者さまの検査データを提供します。
- 病院だけでなく保健所・学校・職場などで集団検診を行います。

斜視・弱視の訓練、ロービジョンケアを行います。

- 人は、いろいろなものを見ることで視覚が育ち、6歳までに大人の視力に達します。
子どものころに「見ること」を妨げられた未発達の視覚を育てるお手伝いをします。
- 高齢化や目の病気などで回復困難な視覚になったとき、残っている視力や視野を最大限に活かすために補助具の選定や使用訓練を行います。

［活躍のフィールド］

◎総合病院の眼科、大学病院の眼科、眼科診療所で、眼科一般検査、斜視・弱視の訓練、ロービジョンケア、健診業務を行っています。
◎病院だけでなく、保健所・学校・職場などで行う集団検診に携わります。普段から小児の視覚検査を行い、
子どもに慣れている視能訓練士は3歳児健診などで活躍しています。
◎保健センターや保健所、リハビリテーションセンター等で検査、訓練に携わります。
◎研究機関、教育機関、医療機器メーカー等での活躍が期待されます。

福岡国際医療福祉大学、国際医療福祉大学では地域や海外で活躍できる高い専門性を持つ作業療法士、視能訓練士を養成しています。

九州の４年制大学で唯一の視能訓練学科

福岡国際医療福祉大学

医療学部／理学療法学科、作業療法学科、視能訓練学科
言語聴覚専攻科（4年制大学卒業者対象／2年課程）

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3-6-40
TEL／092-832-1200
E-mail／nyushi@takagigakuen.ac.jp

国際医療福祉大学

福岡保健医療学部／理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、医学検査学科
※2020年4月、福岡薬学部開設予定（設置届出書類提出中）

〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL／0944-89-2000
E-mail／kyushu-nyushi@iuhw.ac.jp